

ボルグワーナー、 フランクフルトモーターショー2019(IAA 2019)に出展

- ホール9.0のB08ブースにて電動化の先進ソリューションを展示
- バッテリー充電から推進まで電動モビリティのあらゆる段階を網羅
- 最適化された推進ソリューションによるシステム能力を訴求

ボルグワーナー（本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：フレデリック・リサルド/Frederic Lissalde）は、9月10日から22日にかけてドイツのフランクフルト・アム・マインで開催される第68回フランクフルト国際モーターショー（IAA 2019）において、クリーンでエネルギー効率の優れた世界への移行をかつてないほどに容易にするソリューションを展示します。電動化技術の最新ポートフォリオに重点を置いた当社の展示（ホール9.0、B08ブース）は、今年のIAAのスローガンである「Driving Tomorrow」を具体的に示すものです。ボルグワーナーは、ハイブリッド車および電気自動車向けのコンポーネントとシステムの能力を訴求し、電動モーター、バッテリー、およびトランスミッションの技術、パワーエレクトロニクス、サーマルマネジメントシステムなど、電動モビリティ向けの総合的な製品ポートフォリオを展示します。また、今回のIAAでは、当社の革新的な「eTurbo」技術に加え、最新バッテリーパック「P2ハイブリッドモジュール」および「eAxle iDM」も出展します。

コンポーネントおよびシステムサプライヤーの専門知識

ボルグワーナーは、電気自動車向け小型バッテリーパックを製品ポートフォリオに追加し、今年のIAAで電動モビリティへの移行を意図した最先端システムを披露します。このバッテリーパックは、極めて高いエネルギー密度を実現する、小型設計の標準的な円筒形電池を搭載しています。これを当社独自のサーマルエンジニアリングおよびバッテリーマネジメントと併用すると、航続距離と性能が飛躍的に向上します。拡張性の高い設計により、カスタムモジュールを用いる顧客が製品を市場に投入するまでの時間が短縮されます。

当社はまた、統合ドライブモジュール「iDM」も出展します。このシステムソリューションは、特別に開発されたパワーエレクトロニクスと、電気モーターおよびトランスミッションの技術を、単一のコンパクトなパッケージにまとめたものです。その他の重要なシステム事例としては、オンアクシスおよびオフアクシスの P2 ハイブリッドモジュールがあります。これを利用すると、自動車メーカーは、モーターやトランスミッションを変更することなく、既存の内燃機関車からハイブリッド車に柔軟に転換できます。48V ソリューションは、ピュアEVの走行と、停止／発進や回生ブレーキなどのハイブリッド機能を実現することで、迅速なハイブリッド化を可能にします。

これらのイノベーションと併せて出展する「eTurbo」は、タービンと同一のシャフトに取り付けられた電動マシンのモーター発電機を備えたターボチャージャーです。アシストが必要な時は、電動マシンがターボシャフトを回転させ、ほぼ即時にトルクを引き上げます。一方、排気フローによってタービンのエネルギーが必要以上に発生した場合は、電動マシンがそれを取り込んで電気エネルギーに変換します。

今回の IAA での展示のとおり、ボルグワーナーは、ハイブリッド車および電気自動車向けソリューションの広範なポートフォリオを有しており、電動モビリティの充電から推進までに対応する包括的な製品群で顧客を支援します。

ボルグワーナーの社長兼最高経営責任者であるフレデリック・リサルド（Frederic Lissalde）は、「今日ほどモビリティが関心を集め、多様化している時代はありません。自動車業界は数多くの課題に直面していますが、ボルグワーナーはそうした課題に対応する幅広いソリューションを提供しています。例えば、高効率な内燃機関や、様々なハイブリッド車アーキテクチャ、ピュアEVシステムのための技術などです。当社は、先進技術の幅広いポートフォリオにより、多様化したこの市場の需要に応え、世界中の自動車メーカーを支援することができます。」と述べています。



今年の IAA でボルグワーナーは、P2 モジュール（左）、バッテリーパック（中央）、「eAxle iDM」（右）などのハイブリッド車および電気自動車ソリューションを展示

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー(NYSE: BWA)は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルリーディングカンパニーです。世界 19 カ国 67 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 30,000 人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.comをご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国民事訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「狙い」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レート、与信枠、重要な管理への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K/A 年次報告書に記載したリスク要因など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

＜報道に関するお問い合わせ＞
ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、佐藤
TEL: 03-3571-5326 FAX: 03-3574-0316
EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp